

【動画で学ぶ】イーサリアムやADA開発者チャールズホスキンソンから「未来の非中央集権化思想」を学ぶ！

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！

さてさて、読者さんは「天才チャールズホスキンソン」は

ご存知ですか？

たぶん暗号通貨取引をしてる人はみな知ってると思いますが

ずばりイーサリアムやADAの開発者ですよ。

ホスキンソンは

コロラド大学で数論と数学理論を学んで暗号分野を極めた人で

暗号通貨イーサリアムを作り出し1200もあるといわれる

暗号通貨の中でイーサリアムは第2位に輝いていて

今このイーサリアムはビットコインより注目されてると

いっても過言ではないかもしれません。

イーサリアムの中核開発者メンバーとしては

ヴィタリック・ブテリンが有名ですけど、またチャールズホスキンソンもこれ

すごい重要なメンバーだったわけですね。

それで以前にこのチャールズホスキンソンが世界中で見られている

TED にて講演をしているんですね。

この動画、これからの未来を占う上で大変重要な動画で

これから世界がどのようなようになっていくか？が分かりますので

今日は彼のこの動画(日本語字幕付き)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

イーサリアムやADAの開発に当たったチャールズホスキンソンの

演説動画。世界は非中央集権化・分散化(decentralization)されていく

⇒ <http://www.snatchfx.com/charles-hoskinson>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

でその辺を学びたいと思います。

【動画で学ぶ】イーサリアムやADA開発者チャールズホスキソンから「未来の非中央集権化思想」を学ぶ！

さてさて、今号では「暗号通貨界の天才」と言われている

チャールズホスキソンについて学びたいと思います！

これはいつか扱いたいな〜と思っていた動画なんですが

なかなか扱う機会がとれませんでした。今号で

扱いたいな〜と。

それで富裕層たちが2月3月から買い集めてる通貨としては

イーサリアムですよ。

これがやはりガチホするべきだということで私なんかも

イーサリアムは買い増ししておりました。

それでこのイーサリアムなのだけど有名なのは

ヴィタリック・ブテリン氏ですが

イーサリアムの開発者と検索するとヴィタリック・ブテリン

が出てくるわけですね。

それでどうも調べると

Vitalik Buterin(ヴィタリック・ブテリン)や他多数と

共に Ethereum (イーサリアム)を立ち上げたのはこの
ホスキンソンなんですが

もともとチャールズホスキンソンいわく

イーサリアムってのは組織的にカオス状態だった

そうでした

そこで当時は CEO の Vitalik を筆頭にして、ホスキンソンも一緒に
なんとかビジネスモデルを作り出し、資本金が集まるように
苦心していたと。

そこでブテリンなんかは非常に強く非営利の組織を目指したがっていた
けど

一方、ホスキンソンは現実主義でそこで資金調達で
ベンチャーキャピタルなんかも入れて
ある程度の営利は追求すべきだ、というところで

意見の食い違いがあったわけです。

そこでホスキンソンはその辺のカオスなイーサリアム組織の中で
意見が合わなくて
イーサリアムを離脱しているのですが

その後はADAなんかの開発にも当たっていますよね。

そのADAもどんどん時価総額を伸ばしてきており

暗号通貨界ではADAの名前は知らない人がいない

という状況になっておりますよね。

私個人はイーサもADAも長期保有で数年単位で

まだまだ伸びるんじゃないかなとは見てますよね。

それでやはりこのブテリンとホスキンソンの2人は

英語圏の発言追って行くとおそらく確執があるはずで

それはまさに昔のWINDOWSのビルゲイツとMACのスティーブジョブス

みたいなそういう部分も彷彿とさせますが

いずれにしてもこのチャールズホスキンソンというのは

暗号通貨界では無視できない人で

実はこのインフォ業界でも名前はNDA上出ていないけど

ICOとかで開発途上国の人の資金繰りをうまくするとか

そういう思想の背後には実は彼がいたりするわけですね。

このチャールズホスキンソンという人はまだ若く、これからも
暗号通貨界に影から影響力を与える人物として注目されていますね。

それでこのチャールズホスキンソンの思想を理解するというのが
すごい大事でして、

なぜかというとな彼の思想がこれからの

~~~~~  
世界の大きな影響を与えていくからです。  
~~~~~

それで以前にこのチャールズホスキンソンが 世界中で見られている
TED にて演説を行っているんですね。

彼の演説を見ると、

「これからの世界がどうなるか？」

が良く分かります。

見てみましょう！



イーサリアムやADAの開発に当たったチャールズホスキンスンの
演説動画。世界は非中央集権化・分散化(decentralization)されていく

⇒ <http://www.snatchfx.com/charles-hoskinson>



以上です！

それでこのチャールズホスキンスンの「非中央集権化・分散化」
これがやはり世界のこれからの経済思想の「核」になっていく
ということですね。

この思想を元に、色々なサービスや通貨なりが開発されて

私たち人類の生活はどんどん分散化、非中央集権化されていく

~~~~~  
わけです。

少なくともそういう大きな流れが今発生しつつあるし

2020年代にはそれがもっと強烈になっていくということですね。

これは大きくはもう国際政治という枠組みの中でも出ていることで  
例えば中央集権に近いものとしてやはり「アメリカ帝国」というのが  
存在していました。

これはまさに帝国であるから、中央集権に近いものでありましたが  
まさにアメリカが「帝国」であって世界の警察官として  
機能してきたわけだけど

もうこれからの時代は中国とかロシアとかのBRICSなんかを  
中心に

アジアアフリカ中東あたりが多極的に経済発展していき

そこで一極集中的な今までの先進国で見られた発展ではなく

各地で経済が発展していくという流れにどんどん収束されていってますよね。

例えば北朝鮮なんかもいずれ中国型の資本主義を取り入れて

市場を徐々に開放していき、

そこで経済圏がしっかり作られていき、

世界的な中央集権では発展できなかった地域がどんどん発展していく

フェーズってのが2020年代～2030年代に現出していく現象でしょう。



フィリピンなんかは分かりやすいのだけどアメリカ帝国が存在していた影響でずっと発展できなかった。

けどドゥテルテ大統領が出てきて、それがこれから発展軌道に乗っていきます。

だから世界全体でも分散化、非中央集権化ってのは進んでるわけですね。

それを多極的發展とか言ったりしますがこれはもうマクロの大きな世界全体の流れとしても出てきてます。

それでこれは個人でもそうで、例えば分かりやすいのがYOUTUBERですが「映像で稼ぐ」というのは以前はテレビ局の専売特許だったわけですね。

それこそ電波利権というのがあってそこでまさに総務省官僚たちが中央集権的にそれを独占していて

そこでその電波利権を得られたテレビ局ってのが絶大な力を持っていたわけでした

今も芸能人たちの発言というのは影響力が多少なりともあります。

しかし

そこで例えばYOUTUBERとか最近だとYOUTUBEベースも  
使わない生放送でライバーと呼ばれる人たちが出てきており

ここで「映像で稼ぐ」というのも中央集権的なものは  
壊されてきて、面白い映像を作成する個人とかが実際にその映像で  
利益を得られるようになってきたわけです。

だから昔はそれこそ私が子供の頃はテレビ番組というのが  
共通言語で「昨日のごっつええ感じのダウンタウン面白かったな」  
とかそういう会話が学校でされていたけど

もう今の時代は違ってある人はYOUTUBERでヒカキン見ているし  
ある人はYOUTUBEでヒカルやらラファエル見ているだろうし

ある人はツイキャスとか17ライブとかでスマフォアプリで  
無名人のカラオケ動画を見てたりするわけで

そういう話題の一致というのも少なくなってきたるかもしれません。

まさに映像分野なんかにおいてもこの非中央集権化、分散化ってのが  
すごい顕著ですよ。

また今まではメディアは大企業が独占していたものだけど  
今や個人がブログやメルマガやLINEアットを持ちだして

情報発信をするようになっていて

人々は大企業メディアなんて目もくれず、最近はそれらの個人たちの  
視点や発言が  
急激に力を持ち出しておりますが

これも情報の非中央集権化、分散化であったりします。

そこで今までの中央集権の利権に寄り添ってる人たちは  
なるべく規制だったり統制をして中央集権を守ろうとしているけども

大きな世界の流れとしてはもう非中央集権という流れがあるわけですね。

それで面白いのが上に書いたビタリックブテリンとチャールズホスキソンが  
イーサリアムで資金調達したときの話ですが

当時としては画期的な額であったでしょうがそこで

1800万ドルの調達を行えた。

20億円以上ですよ。

けどもその「調達コスト」はいくらだったか？というと

たったの350ドルだったと。日本円で4万円前後の金額であったということです。

だからまあこれが非中央集権化思想のすごいところで

通常株式公開なんかで資金調達しようとするれば

それは大変なコストがかかっていたわけですが

今やそれは4万円前後のコストでその資金調達が行えるわけですね。

こうやってどんどん非中央集権化されていくことで

「今までの問題の多くが解決されていく」という未来が

チャールズホスキンソンに語られています。

例えば以前「保険を個人が発行できるようになる」という

ICOなんかをメルマガで扱いましたが

まさにその発想についても今回ホスキンソンが言ってますよね？

今までは大企業しか保険発行はできなかったわけですが

これがブロックチェーン技術だったりあとは

契約情報をプログラミングで自動的に、検閲されず行える

スマートコントラクト技術なんかをかましてしまえば

個人でも保険発行ができるようになるという未来も言われてますね。

だからここでも今までは大企業の元でしか生活の糧を個人で

給料と言う形で受け取って生きるしかなかった人たちが

自分で個人で個人事業主みたいな形で保険を発行して

それで収益を得て、生活ができるようになる、

そういう感じの未来になっていくということです。

だからここでチャールズホスキンスンの思想としては

クレイゴトはなくて、多くの人が資本主義の中で小さいスモールオーナー

としてそれぞれ稼げる世界を作ろうとしているというのが

分かりますが

だから彼なんかは収益化は当然現実主義者としてこだわるわけですね。

彼の言ってる非中央集権とか分散化ってのは

まさに今の世界が中央集権が当たり前の状況で、

例えば日本だと大企業と公務員が社会を支配しているのが

一般的な状況だけでも

そんな状況で彼の話は夢想的、理想主義的に聞こえるだろうけど

実は極めてそれを現実主義的に考えてテクノロジーの発展で

それが可能である、と断言しているのがチャールズホスキンスンであります。

そしてこれは私はまた政治学の大きな見かたももっているから

それもあわせてホスキンソンの言論を見ているのだけど

彼の言論は大きな世界の多極化というある種のトレンドに

合ってますから

やっぱり世界はそうなっていくでしょう。

だから暗号通貨技術ってのはこれはもう 2020 年代から 2030 年代あたりには

明らかに生活のあらゆる分野に浸透していきまして、

人々の生活になくってはならないものになっていくでしょう。

例えば以前に扱ったカーシェアリングの事例もあるのだけど

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【「カーシェアリングは誰でも稼げてしまう」のではないか？  
ということについて考える！】

<http://fxgod.net/pdf/money/carshare.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

あれも以前は大企業のレンタカー会社が中央集権的に、

車の貸し出しを行っていたわけですが

今や個人が大きな企業を解さずにカーシェアみたいのが可能になってくるんでしょう。

今はまだ企業が解してそこでカーシェアが行われてる状況で  
例えば保険発行体なんかも大企業の東京海上だったりするんだけど

これもいずれ個人がブロックチェーン技術やスマートコントラクトを使って  
保険発行する時代になれば

この大企業の保険はいらなくなってしまうし、

またカーシェアリングをやってる企業のサービスがなくても  
そのカーシェアは成り立ってしまうわけですね。

そこで人々は例えば車を貸してお金を儲けるってのを  
普通にビジネス化できる未来になっていく。

これはスマートコントラクトなんかを利用すれば契約条件とかの  
確認や検証なんかも可能ですから

技術的にもう可能になってくるわけでした

要するに個人と個人の契約なり経済活動において今は  
企業が仲介しているんだけど

それをしないで取引が可能になっていくということですね。

ここで当然個人事業主で

スモールビジネスで稼げるのは当たり前になっていくから

個人で自分で稼ぐというのは未来ではもっと浸透していくのは

これはもう間違いがないとまで言えます。

これは2010年から書いていますがそもそも

企業という概念が弱体化していく可能性がありますね。

そこでブロックチェーン技術だったりスマートコントラクト技術という

契約の自動化ができるものってのが

大きく活躍していくわけですね。

ちなみにこのスマートコントラクト技術で

契約判断とか確認、検証なんかを行うわけですが

そこでAI技術が投入されていきまして、個人がいちいち面倒な

数理など扱わなくても例えば上の事例だと保険発行ができるようになるし

契約関係も検閲なしで進めることができるようになるんでしょう。

これがどうも未来の人類の形になっていくわけですね。





イーサリアムやADAの開発に当たったチャールズホスキンスンの  
演説動画。世界は非中央集権化・分散化(decentralization)されていく

⇒ <http://www.snatchfx.com/charles-hoskinson>



まだ動画ではDNSの分散、ISPの分散という話まで  
及んでますが

それこそ例えば私たちなんかはDNSなんかは  
中央集権的なDNSサービスを使っていますが

これもこれから非中央集権化されていくと。

DNSってのは、ネット上にIPアドレスというのが  
あってですね、

例えば みんなが使ってるヤフーっていうサイトは  
**yahoo.co.jp**

だけど本当はIPアドレスってのがあるわけですね。

これはURLのところに `yahoo.co.jp` と入れれば

自動でDNSサーバーがIPアドレスを出してくれるわけだけど

分かりやすいのはその 通常 `yahoo.co.jp`

と書いてるところに

IPアドレスの `183.79.135.206`

をURL欄に打ってみると

普通に5月7日昼時点ではヤフーが出てくるんですね。

暇な人はやってみてください。

これを数字じゃなくて `yahoo.co.jp` と打ってヤフーが出てくる

というのを実現しているのがDNSサービスだけでも

このDNSサービスさえも非中央集権化できるって話がされてますよね。

またそのほかにもISP(プロバイダ)の分散、非中央集権化って

話もホスキンソンによりされていきました。

例えばですが最近だと非常に分かりやすいのが

漫画村問題ですよ。

漫画村問題というのが最近話題になっていて

漫画村では色々な漫画を無料で読めてしまうわけですが

これがまあ著作権関係で問題であるということで

やはりマスコミの総バッシングを食らっているわけです。

それで起こったのはグーグル検索で漫画村を出さない

ということでした

これは要するに検索サービスなんかもグーグルという中央集権のもの

であるからこうやって検閲対象になってしまうと。

それで漫画村なんかはDNSレコードが消失して

人々はそこにアクセスできなくなりつつありますが

ここはやはり憲法違反ではないか、という声も根強くあるわけです。

「海賊版サイトのブロッキングは憲法違反」

「漫画村は国内から配信されている」 楠正憲さんに聞く

[http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1804/12/news047\\_2.html](http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1804/12/news047_2.html)

私は漫画はそんなに沢山読むほうではないのですが

この漫画村サイトのブロッキング問題というのはやはり恐ろしいことだとは

思っています

これは究極的には官僚たちに不都合なものを

検閲可能にしていく可能性を秘めている動きだから

やはりこの憲法違反ではないか、通信の秘密を侵して

検閲行為を行ってるのと同様ではないか、という指摘は

考える必要はあると思いますよね。

それでここでDNSブロックなんかが問題になっているわけですが

これもチャールズホスキソンからしてみれば

DNSの非中央集権化、分散化を進めれば政府の検閲などに

対抗できるという考え方になるわけですね。

ここで中央集権型の官僚たちが

「このサイトはダメだ！有害だ！

(自分たち官僚の大衆支配にとっては有害という意味)

人々がこのサイトを表示できなくしてしまえ」

とやってもこのDNSサーバーだったり、ISPの分散化を進めたら

それは不可能になっていくわけですね。

そういう意味ではこのホスキンソンの非中央集権化、分散化の  
思想ってのは大変重要になっていくと。

今の日本人のあり方なんかがまさにこの非中央集権化の必要性を  
示唆しているわけだけど

それこそ情報はもう中央集権化されたものからの情報しか  
取ることができないようになっているわけですね。

例えば山口達也氏の情報なんてどうでもいいのに

それが

延々と警察がリークした情報を元にしたマスコミ情報として流され、  
私たちに刷り込まれるわけです。

そして例えば上の漫画村の件ではやはりDNSブロックとかアクセス遮断  
というのは

憲法の言論表現の自由で言われている検閲行為に当たる可能性が  
高いわけですが

そういう話、危惧するのは全く情報として伝わらなくなっていて

「漫画村は悪い」という中央集権がコントロールした情報そのものだけが

人々にネットやテレビで届くようになっております。

そこで「政府や官僚が恣意的に検閲行為をネットで行えるというのは

どうなんだろう」

という意見は封殺されてしまうわけですね。

日本の言論空間なんかがまさにそんな状況です。

最近は大手ネットニュースや大手マスコミだけにあらず

グーグル検索さえも大きくは情報統制されているわけですが

これに対抗する技術として非中央集権、分散型の思想があるわけですね。

そしてそれはうまくいかないように見えて、

まるでドンキホーテのように見えながらも

実は技術的にはどんどん可能になっており、さらにマクロとしては

世界全体の非中央集権化という動きが起こっておりますから

この動きは馬鹿にできないわけです。

そしてやはり結局の話、官僚たちがいくらコントロールして統制したくとも  
非中央集権化・分散化というのが  
これから技術的には進んで行く可能性は非常に高いわけですね。

これはやはり人類の政治の歩みとして  
自由主義と民主主義をあわせた近代デモクラシーの考え方というのが  
日本以外の国では大きく広まっておりますから、

それを基礎として日本でさえ憲法 21 条言論表現の自由というのが  
日本国憲法にもありますが

このような自由主義思想が思想として確立しているのが人類の現状なので  
やはりそれを元としてこの非中央集権化、分散化は進まざるを得ないと  
私は見ております。

そこでテクノロジーとしてこのチャールズホスキンスンの  
言ってるブロックチェーン技術だったり非中央集権化だったり  
スマートコントラクトってのは大きな役割を果たすだろうな  
ってのが分かってきますよね。

ちなみに取引所なんかに関しても

例えば中央集権の権化である金融庁がバイナンスに対して

けん制を強めておりますが

このバイナンスもこれまた対抗策として

分散型取引所の構想を進めておりまして

今まではバイナンスというある種中央集権の取引所が

通貨のディーリングを管理していたわけですが

ここで Peer to Peer で個人間で暗号通貨の取引ができるように

整備も進みつつありますよね。

こうなっていくともうバイナンスは個人間の取引のプラットフォームを

作ってるだけですので 中央集権官僚からしても

なかなか注意しづらくなりそうです。

とにかく今の時代はまさに中央集権の時代でして

例えば官僚機構というのがありまして

それが人々の中間に立って「中抜き」

しているのが今の時代なんだけど



ここで人類は新しく Peer to Peer の個人間の介入者なしの取引だったり体制、構造を模索していくことになっていくだろうというのが彼のTEDの演説を聞くと良く分かるわけですね。

ちなみに中央集権の問題というのはまさに日本の問題そのものですが例えば政府が

「貧困者を救うために、私たち 絶対に悪いことをしない政府官僚たちがお金を徴収して、貧困者にそれを配分しましょう」なんてやるわけです。

が、実際の話私たち日本人が見ている現実

「増税がされたら同じく官僚の天下りは増えていき公務員給与もアップする」

という問題でして

結局その税金のほとんどは公的部門の人たちに仲介者として取られてしまっているということですよね。

ここで税金を使って社会保障を行うというのが税を吸い上げるための詭弁であり

実際はそこで国家官僚たちがそこで仲介者として収奪を行ってる  
という現状を見ることができるわけです。

これが中央集権の弊害の大きなところですよ。

だからどんなにあらゆる税金が上がってもそれは公的部門に浪費され  
借金は増えるばかりで

さらに税金が上がる・・・ってのが今の先進国の構造ですよ。

ここでだから税金に関してもやはり最終的には  
非中央集権で分散化していくという議論がいずれ出てくると思いますよ。

それでこの中央集権の弊害というのが人類の苦しみの大きな原因として  
あって、

それは例えば日本でも東京一極集中で地方経済は死んでいるとかですね、  
この辺の現象としても出てきております。

中央集権が進んで官僚的な支配が浸透していくと民衆にとって  
ろくなことがないというのが分かってきているわけです。

ちなみに私なんかアジアに色々住んでみて分かったことがあって

日本の場合は中央集権がすごくて 東京がひとつの国で  
他の地方は経済衰退が激しいけど

例えば韓国なんかだとその辺がマシで、

首都ソウルなんかは結構栄えてるけど

だからといって地方もまあまあ栄えてるんですね。

だから人々はその地方で経済の営みを貫徹できたりするわけだけど

地方の経済もそこそこ元気です。

夜なんかは地方でもかなり繁華街は明るいんですね。

中央集権ではなくても普通に国ってのは発展できるのだからってのが

私が見た限り感じたところですが

この辺の東京一極集中で地方が衰退っていうのもこれまた

大きくは中央集権の弊害としてあるわけですね。

それでこれからの時代は非中央集権、分散というのが

ある種トレンドになってくると思われますので

それがあらゆる業界で表面化していくと思います。

上にユーチューバーの件を書いたけど同じくユーチューバーが  
誕生して個人発信者が大量に出現して

大企業のテレビの広告費が激減していて

大企業の今までエリートとして振舞っていたテレビ人たちが  
どんどん追いやられているわけですが

これもひとつの現象ですよ。

また最近だと暗号通貨の億り人というのが個人で出てきましたが  
今までの中央集権的な株式市場なんかを通さないで金持ちになっていく  
個人が登場したりもしております。

また今までは広告代理店と言えば大手の電通とか博報堂だったけども  
これも最近はかなり小規模な広告代理店ですさまじい利益を出している  
小さな企業も出てきました。

ちなみに芸術の分野なんかもそうで、  
最近例えば自分の作った音楽を  
既存の大手レコード会社なんかの流通無視して

自作でネット上で販売してしまってそこで人気を獲得して  
そこでライブで月数百万円稼ぐアーティストも出てきたし、

また既存の大手出版会社を通さずに自分自身の写真集を作って  
そこでネットと連動しながらコミケなんかでそれを販売して  
月数百万円稼ぐ人も出てきてますよね。

今まで存在していた「中央集権的なもの」がりましたが  
それがどんどん崩されてきておりまして、

これがどんどん分散されていき、非中央集権化していく、  
それが未来の一つの強い傾向として出てきているってことです。

それで動画でも例が出てきておりますが

先進国のジェレミーと後進国のカンの事例がありますよね。

ジェレミーは銀行口座も持っているし資金の借り入れもできるし  
また土地を買えばちゃんと土地の権利書も得られる。

が、カンの場合は後進国の人だから銀行口座ないし  
パスポートもないし、そもそも戸籍もないし、

だから土地も20年住んでる土地があるけどその土地の権利書もないわけです。

これが実際の今の世界ですよ。

そこで失われてる世界的な経済的損失額というのはすさまじい額である  
ということがホスキンソンによって言われていますが

ここでブロックチェーン技術だったりスマートコントラクト技術が  
普及していくとそれらがちゃんと解決されて

これらの今まで経済成長の恩恵を受けられなかった人たちも  
恩恵を受けられるようになる。

例えばこの人たちが立派に先進国の人たちとも  
ビジネスを行えるようになる未来  
になっていくわけですね。

そしてこの今は後進国の貧しい人たちも中間層に這い上がってくる  
ってのがこれから 20 年間～30 年間の流れでして

これは最近だと北朝鮮人民の人たちもいずれパスポートを取得して  
旅行をするようになって

世界の人たちとビジネスを展開していくでしょうが  
こうやって世界的に中間層は増えていくわけです。

最近先進国で「格差問題」ってのが問題になっているけど  
結局の話、この非中央集権化ってのは格差を解決する大きな  
~~~~~  
原動力になっていくっていう話でもあるわけですね。
~~~~~

それを、この天才チャールズホスキソンはテクノロジーで  
実現しようとしているのですが

実際に彼は極めて優れた現実主義の洞察を  
持っているのでそうなるだろうと  
私は見ております。

これは私ゆうの事例が分かりやすいけども  
私ゆうなんかも昔は派遣時代はまさに大企業の奴隷で貧乏でしたよね。

けどそこでネットワークで分散化が進んだ結果

個人で独立できる分野がいくつか登場してきて、  
そこで独立してそこである程度豊かにはなれましたが

結局の話こうやって貧困層⇒中間層以上への移動というのが  
可能になってくるわけでした

だからそういう意味で非中央集権化、分散化というのは格差問題の直接的な解決スキームにはなっていくわけです。

歴史が示すように

「中央集権の官僚たちが行う課税による格差解消は不可能であるから」

---

だからそこでやはり官僚や大企業に集中した

---

各種利権、権限を新しいテクノロジーで分散させて、

---

それで個人個人がそこでその フラグメント化されたそれぞれの

---

分野で経済活動して利益を積み上げていく

---

というのが実は一番効率的な経済成長の方法なのでしょう。

---

それをこのホスキンソンは行おうとしているわけですね。

そしてそれらは極めてテクノロジーとして現実的でした

そしてそれが現実的であるから故に

このテクノロジーは徐々に中央集権的なものを崩壊させていくのだらうな

と私は思いますよね。



なのでこれからの時代のキーワードは

「分散化」「非中央集権化」ですよね。

これがトレンドになっていくってのはどうも今の政治だったり

テクノロジーを見ていれば明らかであると思います。

だからこれからの私たちが生きる時代は

「あるものはまだ中央集権的だけど

あるものはもう非中央集権的で分散されている」

みたいな中央集権と非中央集権が混合してお互いにけん制する

時代になっていくのだろうけども

そこで非中央集権的なものにチャンスは大いに生まれますから

それに注目するという視点は大事になるかな？と思いました。

そういう意味で今回の動画のホスキンソンの動画ってのは

未来を示唆しているので大変重要ですね。

それでは！

ゆう